

5

BIOS セットアップについて

本章では、BIOS セットアッププログラムの使い方と機能について説明します。BIOS セットアッププログラムを使って、パソコン本体のシステム構成の設定や、パスワードの登録／削除などができます。

1	BIOS セットアップとは.....	126
2	BIOS を工場出荷時設定に戻すには.....	130
3	Standard CMOS Setup の詳細.....	131
4	Advanced CMOS Setup の詳細.....	133
5	Power Management Setup の詳細 ...	136
6	PCI/Plug and Play Setup の詳細.....	139
7	Peripheral Setup の詳細.....	140
8	Auto-Detect Hard Disks.....	141
9	Password の設定.....	142
10	工場出荷時の設定値.....	144

① BIOS セットアップとは

BIOS セットアップとは、パスワードやハードディスク、周辺機器の使い方などを本体に設定するプログラムのことです。

BIOS セットアップで設定された情報は、CMOS-RAM と呼ばれる特殊なメモリに保存され、電源を切っても設定した内容が消失しないように内蔵バッテリーで保持されます。メモリの増設の変更をしない限り、1 度 BIOS セットアップを行えば以降は必要ありません。ただし、内蔵バッテリーが消耗すると BIOS セットアップは既定値に戻りますので、設定した内容はメモをとるなどして忘れないようにしてください。



メモ

・BIOS セットアップ画面は英語表示のみです。日本語での、項目／説明の表示はありません。

① BIOS セットアップの起動方法

1 キーボードの **[Delete]** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

「AMIBIOS HIFLEX SETUP UTILITY」と表示されたら **[Delete]** キーを離してください。



お願い

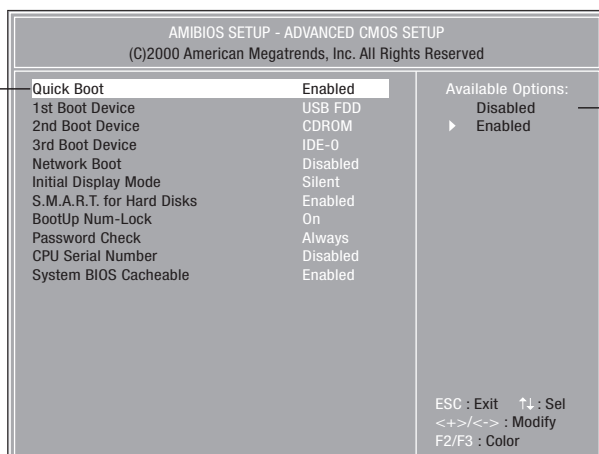
・ **[Delete]** キーの入力が受け付けられるのは、パソコンの電源を入れてから数秒間です。この時間内に **[Delete]** キーを押さないと、システムが起動します。

BIOS セットアップが起動できなかった場合は、通常の終了操作を行なってパソコン本体の電源を切り、上記の手順 1 をやり直してください。

② BIOS セットアップの操作方法

● BIOS セットアップ画面について

選択している項目はカーソルバーで反転表示されます。



選択している項目の設定値が表示されます。

(表示例)

● 使用するキーについて

BIOS セットアップでは、マウスが使用できないため、キーボード上のキーで、メニューや項目の移動、値の入力などを行います。
ここでは、BIOS セットアップで主に使用するキーについて説明します。

● **↑** キー

1 つ前の項目に移動します。

● **↓** キー

1 つ先の項目に移動します。

● テンキーの **+** キー

項目の選択値を 1 つ前の値に変更します。



メモ

・ **[Shift] + [F1]** キーを押しても無効になります。

● テンキーの **-** キー

項目の選択値を 1 つ後の値に変更します。

● **F10** キー

現在の設定を保存し (CMOS-RAM に書き込み)、BIOS セットアップを終了して、システムを起動します。

メインメニュー画面で、**F10** キーを押すと「Save current settings and exit (Y/N) ? Y」というメッセージが表示されます。設定を保存して終了する場合は **[Y]** キーを、保存しないでセットアップを続ける場合は **[N]** キーを押して **[Enter]** キーを押します。

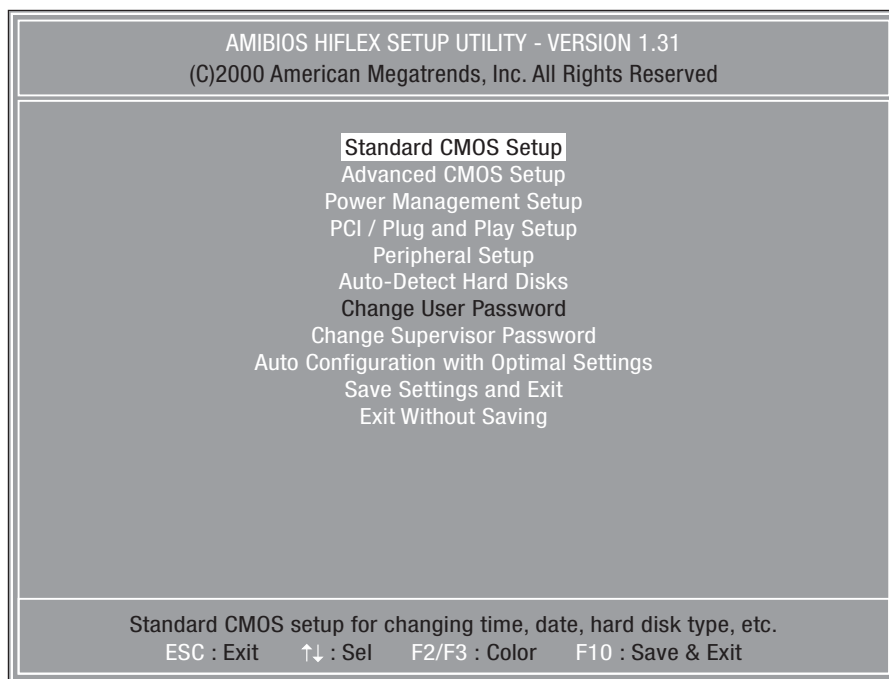
● **Esc** キー

メインメニュー画面で **[Esc]** キーを押すと「Quit Without Saving (Y/N) ? N」というメッセージが表示されます。設定を保存しないで終了する場合には **[Y]** キーを、終了しないでセットアップを続ける場合は **[N]** キーを押して **[Enter]** キーを押します。

サブメニュー中では、1 つ前の状態に戻したり、1 つ前の画面を表示します。

3 BIOS セットアップの内容

メインメニューは次のような画面です。



BIOS セットアップには次のサブメニューがあります。

- **Standard CMOS Setup**
日付や時間などを設定します。
- **Advanced CMOS Setup**
起動するドライブや、ディスプレイの表示などを設定します。
- **Power Management Setup**
省電力などの設定をします。
- **PCI / Plug and Play Setup**
プラグアンドプレイの設定をします。
- **Peripheral Setup**
周辺機器の設定をします。
- **Auto-Detect Hard Disks**
接続されているドライブを検出します。



・ドライブが接続されると [Standard CMOS Setup] の項目にある [Type] が [Auto] 以外の接続されているドライブに変わります。

- **Change User Password**
ユーザパスワードの設定・変更をします。
スーパーバイザパスワードが設定されている場合のみ有効です。
- **Change Supervisor Password**
スーパーバイザパスワードの設定・変更をします。

- **Auto Configuration with Optimal Settings**
設定を初期状態に戻します。
- **Save Settings and Exit**
設定した内容を CMOS に保存し、セットアップを終了します。
- **Exit Without Saving**
CMOS の内容を変更せずにセットアップを終了します。

なお、BIOS セットアップの内容は出荷時期により多少異なる場合があります。

2

BIOS を工場出荷時設定に戻すには

1 BIOS セットアップを起動する

BIOS セットアップの起動方法 ⇨ 「本章 1-1 BIOS セットアップの起動方法」

2 メインメニューより [Auto Configuration with Optimal Settings] を選択し、**[Enter]** キーを押す

「Load high performance settings (Y/N) ? N」 というメッセージが表示されます。

3 **[Y]** キーを押す

設定値に戻さずにセットアップを続ける場合は、**[N]** キーを押します。

4 **[Enter]** キーを押す

5 メインメニューより [Auto-Detect Hard Disks] を選択し、**[Enter]** キーを押す

6 **[Esc]** キーを押す

7 Windows 2000 の場合、[Power Management Setup] の項目を工場出荷時の設定にする

Windows 98 の場合は、手順 7 は必要ありません。

Windows 2000 の場合は、次の操作を行なってください。

① メインメニューより [Power Management Setup] を選択し、**[Enter]** キーを押す

② [ACPI Standby State] を選択し、値を [S3/STR] に変更する

③ **[Esc]** キーを押す

8 **[F10]** キーを押す

「Save current setting and exit (Y/N) ? Y」 というメッセージが表示されます。

9 **[Y]** が選択されていることを確認し、**[Enter]** キーを押す

変更した設定を保存して終了します。

Standard CMOS Setup では日時の設定、ハードディスクドライブの設定などを行います。

AMIBIOS SETUP - STANDARD CMOS SETUP										
(C)2000 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved										
Date (mm/dd/yyyy) : XXX XXX XX, XXXX					Base Memory : 640 KB					
Time (hh/mm/ss) : XX:XX:XX					Extd Memory : XXX MB					
	Type	Size	Cyln	Head	WPcom	Sec	LBA Mode	Blk Mode	PIO Mode	32Bit Mode
	Pri Master	: Auto								0n
	Pri Slave	: Auto								0n
	Sec Master	: Auto								0n
	Sec Slave	: Auto								0n
Month : Jan - Dec					ESC : Exit ↑↓ : Sel					
Day : 01 - 31					<+>/<-> : Modify					
Year : 1901 - 2099					F2/F3 : Color					

(表示例)

Date (mm/dd/yyyy)

年（西暦）月日を設定します。

[月/日/年] の項目移動には、キーを使います。

Time (hh/mm/ss)

時刻（24 時間単位）を設定します。

[時：分：秒] の項目移動には、キーを使います。

Base Memory

システムメモリ量を表示します。（表示のみ）

Extd Memory

拡張メモリ量を表示します。（表示のみ）

Pri Master | Pri Slave | Sec Master | Sec Slave

IDE インターフェース上のドライブを設定します。

- ・ Pri Masterメインボード上の第 1 (Primary) IDE インタフェースの
マスタ (Master)
- ・ Pri Slaveメインボード上の第 1 (Primary) IDE インタフェースの
スレーブ (Slave)
- ・ Sec Masterメインボード上の第 2 (Secondary) IDE インタフェー
スのマスタ (Master)
- ・ Sec Slaveメインボード上の第 2 (Secondary) IDE インタフェー
スのスレーブ (Slave)

本装置は、標準状態でハードディスクドライブが [Pri Master] に、CD-ROM
ドライブまたは CD-R/RW ドライブが [Sec Master] に設定されています。

▼ Type

IDE ドライブのタイプを設定します。

- ・ Auto自動設定
- ・ CDROMCD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブ
- ・ FLOPTICALフロッピーディスクドライブ
- ・ Not Installed.....使用しない
- ・ 1 ~ 46HDD のパラメータを選択することができます。
- ・ UserHDD のパラメータを設定することができます。



お願い

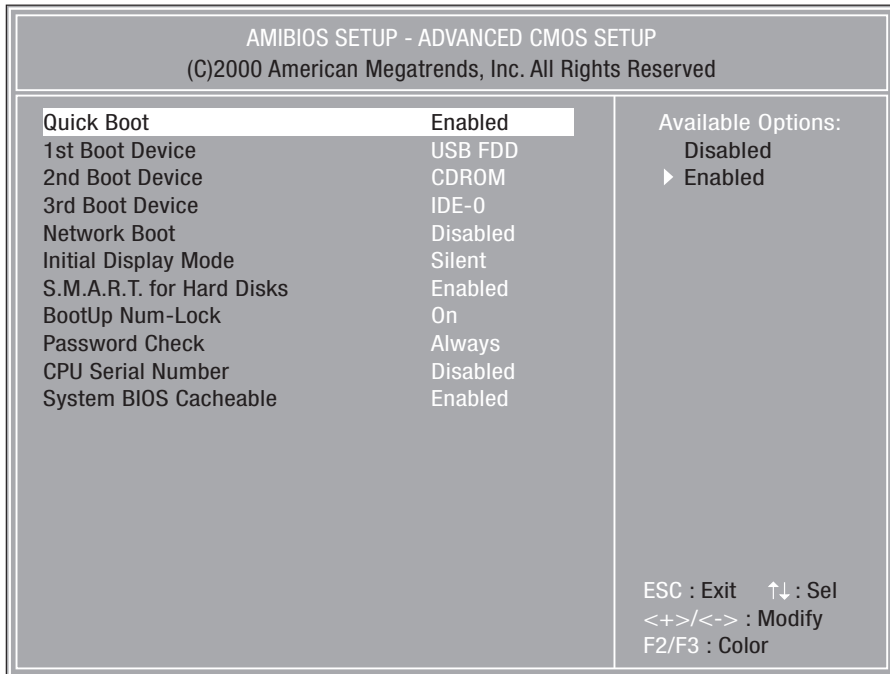
・ [Auto] 以外の設定に変更するとドライブを認識できなくなることがあります。通常は変更
しないでください。

▼ 32Bit Mode

IDE の接続モードを設定します。

- ・ On32Bit モードで接続する
- ・ Off16Bit モードで接続する

アドバンスドメニューでは起動するドライブの順番や周辺装置についての設定を行います。



(表示例)

Quick Boot

システムセルフテストの一部を省略し、パソコンを短時間で、起動する設定を有効にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled 無効にする
- ・ Enabled 有効にする

1st Boot Device | 2nd Boot Device | 3rd Boot Device

ドライブが起動する順番を指定できます。[1st Boot Device] は起動する際に優先順位が最も高いドライブで、以下 [2nd Boot Device] [3rd Boot Device] と順位が下がります。また、CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブから起動する場合は、[CDROM] を選択します。

- ・ Disabled
- ・ IDE-0
- ・ IDE-1
- ・ IDE-2
- ・ IDE-3
- ・ ZIP A:/LS120
- ・ ZIP C:/MO
- ・ CDROM
- ・ SCSI
- ・ NETWORK
- ・ USB FDD

Network Boot

ネットワークに接続されているブートサーバから起動するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 無効にする
- ・ Enabled 有効にする

Initial Display Mode

起動時に TOSHIBA ロゴ画面表示を消すかどうかの設定をします。

- ・ BIOS TOSHIBA ロゴ画面を表示しない
- ・ Silent TOSHIBA ロゴ画面を表示する

S.M.A.R.T. for Hard Disks

"S.M.A.R.T." は、"Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology" を表します。

ハードディスクドライブの状態を監視し、いくつかの（すべてではなく）障害を予測する機能です。この機能を使用するには、対応するハードディスクドライブとソフトウェアが必要となります。

- ・ Disabled S.M.A.R.T. 機能を使用しない
- ・ Enabled S.M.A.R.T. 機能を使用する

BootUp Num-Lock

パソコン本体が起動する際にキーボードのテンキーが使用できる状態（NumLock 状態）にするかどうかを設定します。

- ・ Off NumLock 状態にしない
- ・ On NumLock 状態にする

Password Check

パソコン本体が起動するたび、もしくは、BIOS のセットアップを実行するたびにパスワードチェックを行なうように設定できます。

パスワードが設定されている場合のみ有効です。

- ・ Setup BIOS のセットアップを実行するたびにパスワード入力画面を表示する
- ・ Always パソコンを起動するたびにパスワード入力画面を表示する

CPU Serial Number

CPU が持っているシリアルナンバ機能を無効にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled 無効にする
- ・ Enabled 有効にする

System BIOS Cacheable

より速く動作させるために BIOS ROM の内容をコピーしているシステムメモリのセグメント「F0000h」部の内容を、2次キャッシュに読み込んだり、2次キャッシュに書き込むかどうかを設定できます。

- ・ Disabled 設定しない
- ・ Enabled 設定する

パソコン本体やディスプレイの省電力機能について設定を行います。

AMIBIOS SETUP - POWER MANAGEMENT SETUP (C)2000 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved		
Thermal Control Mode	Performance	Available Options: ▶ Performance Acoustic Automatic Speed
HDD Acoustic	Disabled	
ACPI Standby State	S3/STR	
Power Management/APM	Enabled	
Video Power Down Mode	Suspend	
Hard Disk Power Down Mode	Suspend	
Suspend Time Out (Minute)	Disabled	
After AC/Power Failure	Stays Off	
WOL/WOR Function	Enabled	
Resume On RTC Alarm	Disabled	
RTC Alarm Date	15	
RTC Alarm Hour	12	
RTC Alarm Minute	30	
RTC Alarm Second	30	
		ESC : Exit ↑↓ : Sel <+>/<-> : Modify F2/F3 : Color

(表示例)

Thermal Control Mode

CPUの処理速度とファンの回転を設定します。

- ・ Performance BIOSによる制御を行う。
CPUが高温になったときにファンを回しCPUを冷やす。
ファンを回しても温度が下がらない場合はCPUの処理速度をLowにする。
- ・ Acoustic BIOSによる制御を行う。
CPUが高温になったときにCPUの処理速度をLowにして温度を下げる。Lowにしても温度が下がらない場合はファンを回す。
- ・ Automatic Speed ハードウェアによる制御を行う。
CPUが高温になったときにファンを回しCPUを冷やす。
ファンを回しても温度が下がらない場合はCPUの処理速度をLowにする。

HDD Acoustic

ハードディスクドライブを低騒音モードに設定します。ハードディスクドライブが低騒音モードをサポートしている場合のみ設定できます。

- ・ Disabled 設定しない
- ・ Enabled 設定する

ACPI Standby State

Windows 98 および Windows 2000 での省電力モードの状態を指定します。
[S3/STR] の方が、省電力モード時の消費電力を抑えられますが、PC カード
スロットまたは i.LINK コネクタまたは USB コネクタに接続したデバイスによっ
ては、[S3/STR] をサポートしていない場合があります。問題が発生する場合
は、[S1/POS] に設定してください。

- ・ S1/POS Power On Suspend : 周辺デバイスの電源を切断する
- ・ S3/STR Suspend To RAM : メモリ以外の電源を切断する

Power Management/APM

省電力管理および、APM(Advanced Power Management)を有効にするかど
うかを設定します。

- ・ Disabled 無効にする
- ・ Enabled 有効にする

Video Power Down Mode

ビデオサブシステムが、一定のシステム停止期間後に移行する、省電力モードを
特定するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 特定しない
- ・ Suspend 特定する

Hard Disk Power Down Mode

ハードディスクドライブが、一定のシステム停止期間後に移行する、省電力モー
ドを特定するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 特定しない
- ・ Suspend 特定する

Suspend Time Out (Minute)

サスペンドモードに移行する前の、システム停止期間を設定します。
サスペンドモードでは、消費電力が大幅に節約されます。

- ・ Disabled 設定しない
- ・ 1
- ・ 2
- ・ 3
- ・ 4
- ・ 5
- ・ 10
- ・ 15
- ・ 20
- ・ 30

After AC/Power Failuer

停電などによりシステムがシャットダウンした場合、電源が復帰した後のシステムの状態を設定します。

- ・ Stays Off システムの電源を入れない
- ・ Last State システムがシャットダウンしたときの状態に戻す
- ・ Stays On システムの電源を入れる

WOL/WOR Function

内蔵 LAN の Wake On LAN 機能または、内蔵モデムの Wake On Ring 機能を使用するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する

Resume On RTC Alarm

省電力モードの状態から、通常の状態に戻すまでの日、時間を設定できます。

- ・ Disabled 設定しない
- ・ Enabled 設定する

RTC Alarm Date

[Resume On RTC Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、アラームが開始する日を設定できます。

- ・ 1, 2, ..., 31 day, Every Day

RTC Alarm Hour

[Resume On RTC Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、アラームが開始する時間を設定できます。

- ・ 0, 1, 2, ..., 23 hours

RTC Alarm Minute

[Resume On RTC Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、アラームが開始する分を設定できます。

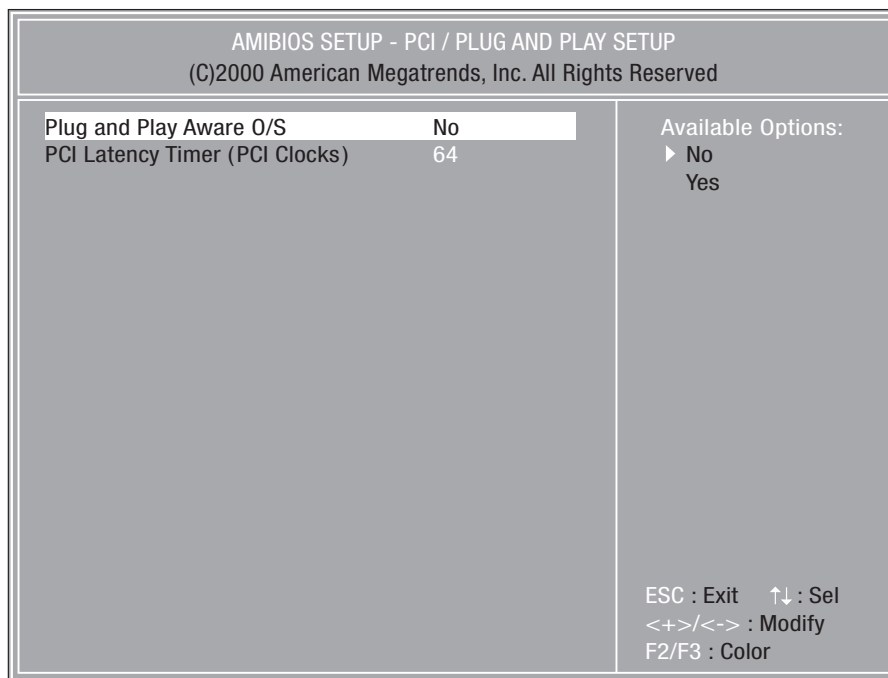
- ・ 0, 1, 2, ..., 59 minutes

RTC Alarm Second

[Resume On RTC Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、アラームが開始する秒を設定できます。

- ・ 0, 1, 2, ..., 59 seconds

パソコン本体やディスプレイの省電力機能について設定を行います。



(表示例)

Plug and Play Aware O/S

プラグ アンド プレイ対応のシステム (OS) かどうかを設定します。

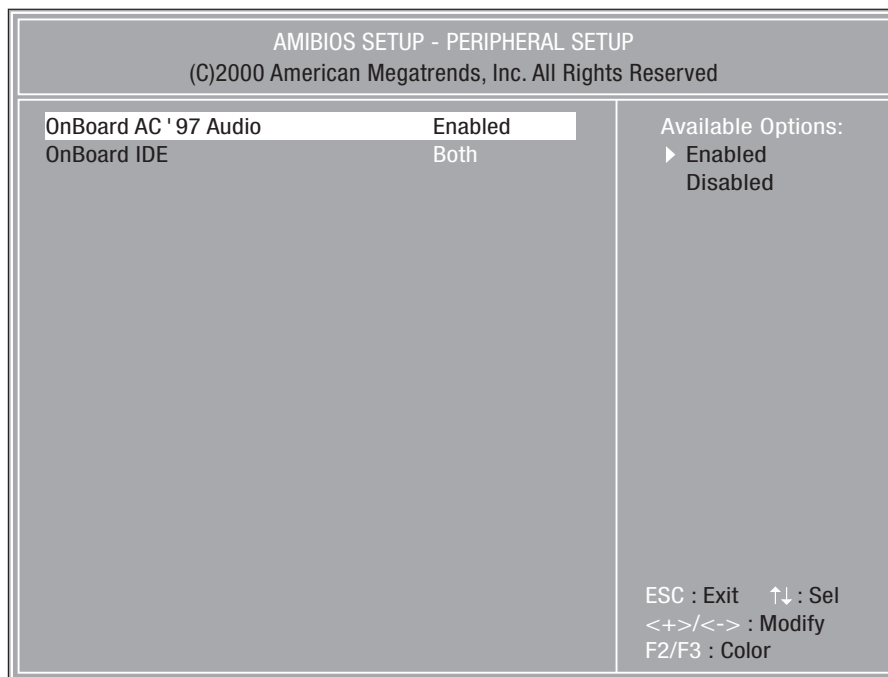
- ・ No プラグ アンド プレイに対応していない OS を使用する
- ・ Yes プラグ アンド プレイに対応している OS を使用する

PCI Latency Timer (PCI Clocks)

すべての PCI デバイスの要求待ち時間を設定します。ユニットの設定は、PCI クロックと等しくなります。

- ・ 32
- ・ 64
- ・ 96
- ・ 128
- ・ 160
- ・ 192
- ・ 224
- ・ 248

パソコンが起動する際の設定を行います。



(表示例)

OnBoard AC'97 Audio

メインボードのオーディオコントローラを使用するかどうかを設定します。

- ・ Enabled 使用する
- ・ Disabled 使用しない

OnBoard IDE

メインボードの PCI ローカルバスの IDE コントローラを設定します。

- ・ Disabled IDE インタフェース上の全てのデバイスを使用不可にする
- ・ Primary IDE インタフェース上の Primary に接続されているデバイスのみ使用する
- ・ Secondary IDE インタフェース上の Secondary に接続されているデバイスのみ使用する
- ・ Both IDE インタフェース上の全てのデバイスを使用する

8

Auto-Detect Hard Disks

AMIBIOS SETUP - STANDARD CMOS SETUP										
(C)2000 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved										
Date (mm/dd/yyyy) : XXX XXX XX, XXXX					Base Memory : 640 KB					
Time (hh/mm/ss) : XX:XX:XX					Extd Memory : XXX MB					
	Type	Size	Cyln	Head	WPcom	Sec	LBA Mode	Blk Mode	PIO Mode	32Bit Mode
Pri Master	: User	40992Mb	19623	16	0	255	On	On	4	On
Pri Slave	: Not Installed									
Sec Master	: CDROM								4	On
Sec Slave	: Not Installed									
Month : Jan - Dec					ESC : Exit ↑↓ : Sel					
Day : 01 - 31					<+>/<-> : Modify					
Year : 1901 - 2099					F2/F3 : Color					

(表示例)

接続されているドライブを検出します。

ドライブが検出されると [Standard CMOS Setup] の項目にある [Type] が [Auto] 以外の接続されているドライブに変わります。



Password の設定

- パソコン本体にパスワードを設定して、他の人がパソコンを使用したり、設定を変えたりできないようにすることができます。
- 電源投入時にパスワードを正しく入力しないとパソコン本体は使用できません。
- パスワードにはユーザパスワード (User Password) と管理者用パスワード (Supervisor Password) の2つがあり [Change User Password] では User Password を、[Change Supervisor Password] では Supervisor Password を設定できます。

Supervisor Password を設定しないと User Password を設定することができません。



お願い

- ・パスワードを登録する場合は、忘れないように必ずパスワードを控えてください。
- ・パスワードを登録した場合は、省電力モード時から解除するときに、パスワードの入力が必要になります。
- ・パスワードは表示されませんので確認することはできません。
- ・パスワードを忘れてしまった場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションにパスワードの解除をご依頼ください。
パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書 (お客様ご自身を確認できる物) の提示が必要となります。

Change Supervisor Password

管理者パスワードの設定、変更を行います。

[Change Supervisor Password] でパスワードを設定している場合、パソコンを起動すると「Enter Current Supervisor Password」というメッセージが表示されます。設定したパスワードを入力すると画面が表示されます。

▼ Enter Current Supervisor password

現在のパスワードを入力します。

▼ Enter new supervisor password

新しいパスワードを入力します。

▼ Retype new supervisor password

確認のためパスワードを再入力します。



メモ

- ・管理者パスワードを使用しているときは、BIOS セットアップのすべての項目を設定できます。

Change User Password

ユーザパスワードの設定、変更を行います。[Change User Password] でパスワードを設定している場合、パソコンを起動すると「Enter Current User Password」というメッセージが表示されます。設定したパスワードを入力すると画面が表示されます。

Supervisor Password が設定されていないと、User Password を設定することはできません。

▼ Enter Current User password

現在のパスワードを入力します。

Supervisor Password でパソコンを起動した場合は表示されません。

▼ Enter new User password

新しいパスワードを入力します。

▼ Retype new User password

確認のためパスワードを再入力します。



メモ

- ・ ユーザパスワードでパソコンを起動した場合は、BIOS セットアップで設定変更できる項目は制限されます。

項目の設定については各メニューの詳細をご覧ください。

Standard CMOS Setup

項目		工場出荷時の設定値
Pri Master	Type	User
	32Bit Mode	On
Pri Slave	Type	Not Installed
	32Bit Mode	—
Sec Master	Type	CDROM
	32Bit Mode	On
Sec Slave	Type	Not Installed
	32Bit Mode	—

Advanced CMOS Setup

項目	工場出荷時の設定値
Quick Boot	Enabled
1st Boot Device	USB FDD
2nd Boot Device	CDROM
3rd Boot Device	IDE-0
Network Boot	Disabled
Initial Display Mode	Silent
S.M.A.R.T. for Hard Disks	Enabled
BootUp Num-Lock	On
Password Check	Always
CPU Serial Number	Disabled
System BIOS Cacheable	Enabled

Power Management Setup

項目	工場出荷時の設定値	
	Windows 98	Windows 2000
Thermal Control Mode	Performance	
HDD Acoustic	Disabled	
ACPI Standby State	S1/POS	S3/STR
Power Management/APM	Enabled	
Video Power Down Mode	Suspend	
Hard Disk Power Down Mode	Suspend	
Suspend Time Out (Minute)	Disabled	
After AC/Power Failure	Stays Off	
WOL/WOR Function	Enabled	
Resume On RTC Alarm	Disabled	
RTC Alarm Date	-	
RTC Alarm Hour	-	
RTC Alarm Minute	-	
RTC Alarm Second	-	

PCI / Plug and Play Setup

項目	工場出荷時の設定値
Plug and Play Aware O/S	No
PCI Latency Timer (PCI Clocks)	64

Peripheral Setup

項目	工場出荷時の設定値
OnBoard AC '97 Audio	Enabled
OnBoard IDE	Both

6

カスタム・リカバリ CD ／リカバリ CD の使いかた

Windows 98 モデルには、カスタム・リカバリ CD が同梱されています。

Windows 2000 モデルにはリカバリ CD が同梱されています。

本章では、カスタム・リカバリ CD およびリカバリ CD の
使いかたについて説明します。

- 1** カスタム・リカバリ CD／リカバリ CD とは..... 148
- 2** 標準システムを復元する 149
- 3** 最小構成でシステムを復元する
(Windows 98 モデル) 155
- 4** アプリケーションを再インストールする
(Windows 98 モデル) 158

① カスタム・リカバリCD/リカバリCDとは

① カスタム・リカバリCDとは (Windows 98モデル)

Windows 98モデルには次のカスタム・リカバリCDが同梱されています。

- Product Recovery CD-ROM
- アプリケーション&ドライバCD-ROM

カスタム・リカバリCDは、何らかの障害によってハードディスクの内容が壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元したり、一度削除してしまったアプリケーションを再インストールする場合に使用します。システムの復元やアプリケーションの再インストールには、次の方法があります。

- 標準システムを復元する
ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元されます。
☞ 「本章 2 標準システムを復元する」
- 最小構成でシステムを復元する
Windowsのみを復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされませんので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。
☞ 「本章 3 最小構成でシステムを復元する (Windows 98モデル)」
- アプリケーションやドライバごとに再インストールする
プレインストールされているアプリケーションを再インストールできます。
☞ 「本章 4 アプリケーションを再インストールする (Windows 98モデル)」



メモ

・カスタム・リカバリCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② リカバリCDとは (Windows 2000モデル)

Windows 2000モデルにはリカバリCD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。

リカバリCDは何らかの障害によって、ハードディスクの内容が壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元するために使用します。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

また、Windows 2000モデルには、アプリケーションCD (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーションCDは、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。

用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項とインストール方法についてはアプリケーションCDをCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブにセットし、表示される初期画面をご覧ください。



メモ

・リカバリCD/アプリケーションCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することは出来ません。

② 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

① 準備

次のものを使用します。

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）



Microsoft Office ^(*) がプレインストールされているパソコンの場合は、上記に加えて製品に同梱されている次のものを使用します。

- Microsoft[®] Office XP Personal CD-ROM
- Microsoft[®] Bookshelf[®] Basic CD-ROM

(*1) Microsoft[®] Office XP Personal および Microsoft[®] Bookshelf[®] Basic

② 操作手順

● Windows 98 モデルの場合

-  **注意** ・復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
- ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
- ・BIOS セットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device]、[2nd Boot Device]、[3rd Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。
-  BIOS セットアップについて ⇨ [5章 BIOS セットアップについて]

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

取り付けた拡張カード類や周辺機器などはすべて取りはずしてください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットする

3 パソコンを再起動する

システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

4 **[1]**キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

5 **[Y]**キーを押す

処理を中止する場合は、**[N]**キーを押してください。

6 章

カスタム・リカバリCD
／リカバリCDの使いかた

6 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す



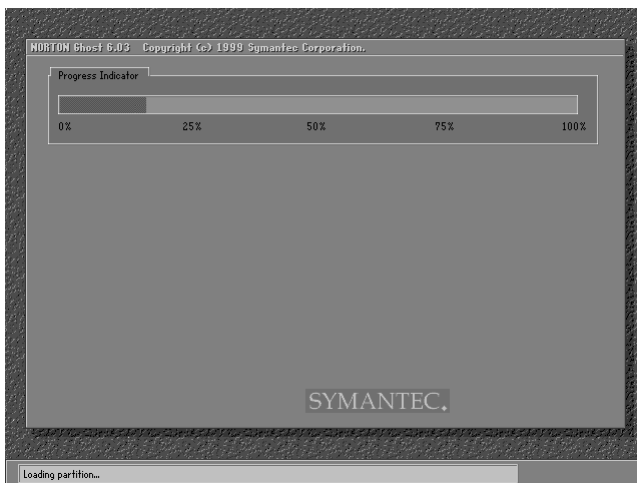
ここで表示されるメッセージは、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。



・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。

復元中は、次の画面が表示されます。

復元の進行状況を示すグラフ表示が、100%のところまで達し、もう1度グラフ表示が100%に達すると完了です。



(表示例)

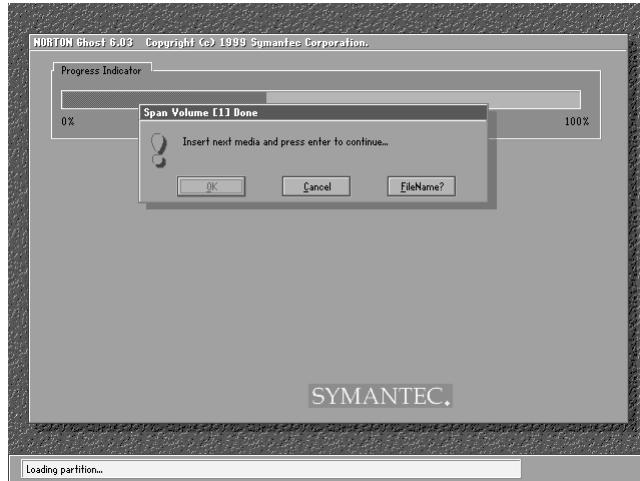
7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合は、CDを入れ替え、**[Enter]**キーを押してください。処理が続きます。



メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。



(表示例)

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。



お願い

・CDをセットしたままキーを押すと、再度システムの復元が始まります。必ずCDを取り出してからキーを押してください。

9 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて ⇨ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

Microsoft Office^(*)のセットアップCDが同梱されているパソコンの場合

Microsoft Office^(*)は、以上の手順では復元されません。

Windowsのセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されている説明書を参照のうえ、復元してください。

(*) Microsoft® Office XP Personal および Microsoft® Bookshelf® Basic

Windows 2000 モデルの場合



注意

・復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

・BIOS セットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device]、[2nd Boot Device]、[3rd Boot Device] の設定をご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

☞ BIOS セットアップについて ☞ 「5章 BIOS セットアップについて」



メモ

・ご購入時の状態でシステムを復元した場合、次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。

Cドライブ：NTFS システム

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

取り付けた拡張カード類や周辺機器などはすべて取りはずしてください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットする

3 パソコンを再起動する

「復元を開始します！よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

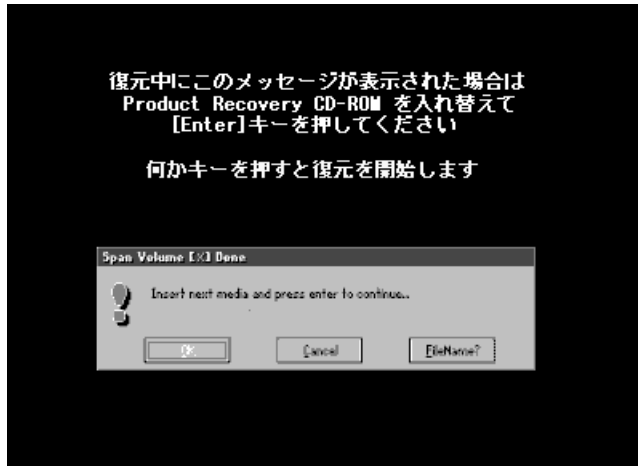
4 復元を行う場合は、**[Y]**キーを押す

復元を行わない場合は、**[N]**キーを押す

[Y]キーを押すと、「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

5 復元の処理を開始する場合には、**[Y]**キーを押す 処理を中止する場合には、**[N]**キーを押す

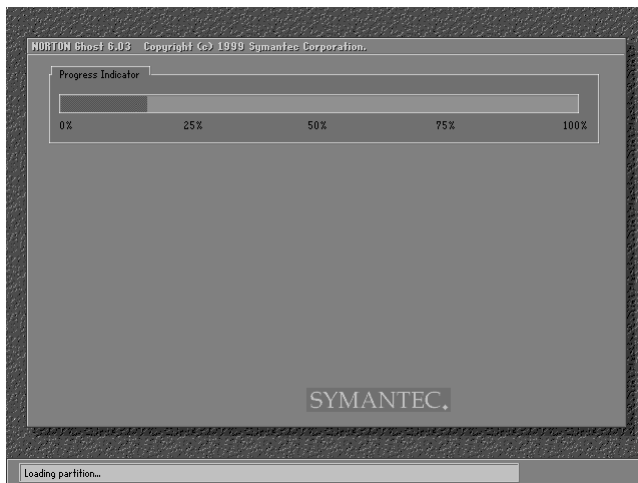
6 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す



ここで表示されるメッセージは、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。

復元中は、次の画面が表示されます。

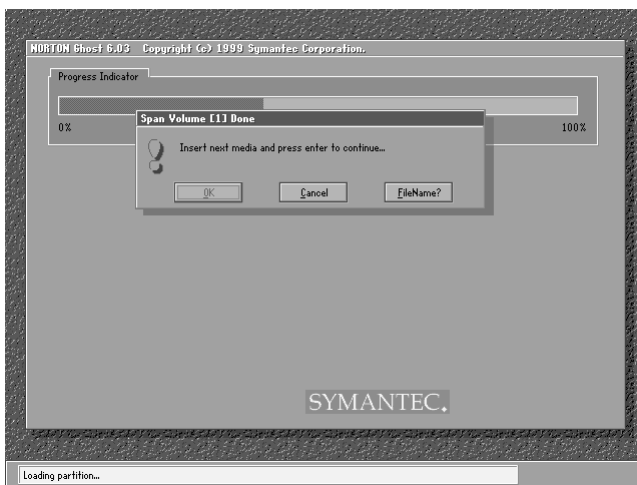
復元の進行状況を示すグラフ表示が、100%のところまで達し、もう1度グラフ表示が100%に達すると完了です。



(表示例)

7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合は、CDを入れ替えて、**[Enter]**キーを押してください。処理が続きます。



(表示例)

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。



お願い

・CDをセットしたままキーを押すと、再度システムの復元が始まります。必ずCDを取り出してからキーを押してください。

9 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて ☞ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

● Microsoft Office^(*)のセットアップCDが同梱されているパソコンの場合

Microsoft Office^(*)は、以上の手順では復元されません。

Windowsのセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されている説明書を参照のうえ、復元してください。

(*) Microsoft[®] Office XP PersonalおよびMicrosoft[®] Bookshelf[®] Basic

3 最小構成でシステムを復元する(Windows 98モデル)

Windows 98 モデルでは、Windows のみを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。Windows のセットアップ終了後、本製品に同梱されている「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」から、必要なデバイスドライバおよびアプリケーションをインストールしてください。



メモ

- ・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量（ご購入時のディスク使用量）が必要です。
- ・最小構成で復元した場合は、デバイスドライバやアプリケーションはインストールされません。本製品の機能をすべてご利用になるには、「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」から、デバイスドライバなどをインストールする必要がありますので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。
- ・最小構成で復元した場合、Windows のセットアップの画面が、パソコンご購入後初めて電源を入れるとき、または標準システムの復元時と異なります。また、Windows のセットアップに時間がかかります。途中、作業画面が止まったように見えるときがありますが、間違って電源を切ったりしないでください。

1 準備

次のものを使用します。

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）

また、Windows セットアップ時に Product Key の入力が必要です。Product Key はパソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。あらかじめ紙などに書き写しておいてください。

2 操作手順



注意

- ・復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
 - ・BIOS セットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device]、[2nd Boot Device]、[3rd Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。
- BIOS セットアップについて ⇨ [5章 BIOS セットアップについて]

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

取り付けた拡張カード類や周辺機器などはすべて取りはずしてください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットする

6 章

カスタム・リカバリCD
／リカバリCDの使いかた

3 パソコンを再起動する

システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

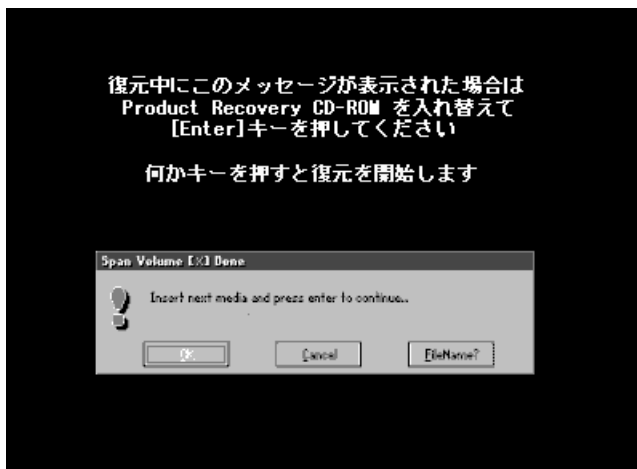
4 [2]キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

5 [Y]キーを押す

処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。

6 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す



ここで表示されるメッセージは、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。

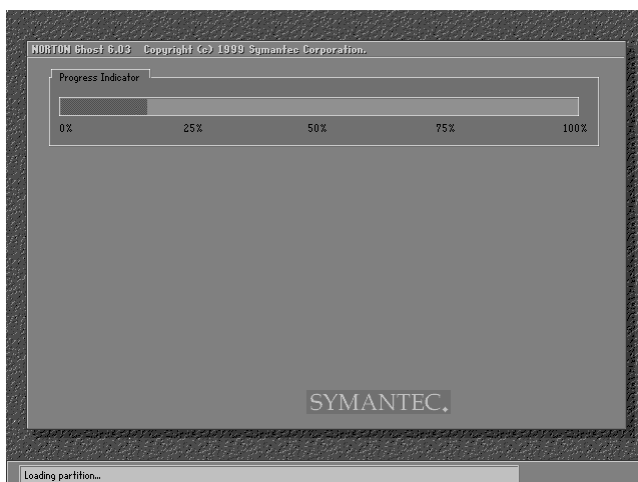


メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。

復元中は、次の画面が表示されます。

復元の進行状況を示すグラフ表示が、100%のところまで達し、もう1度グラフ表示が100%に達すると完了です。



(表示例)

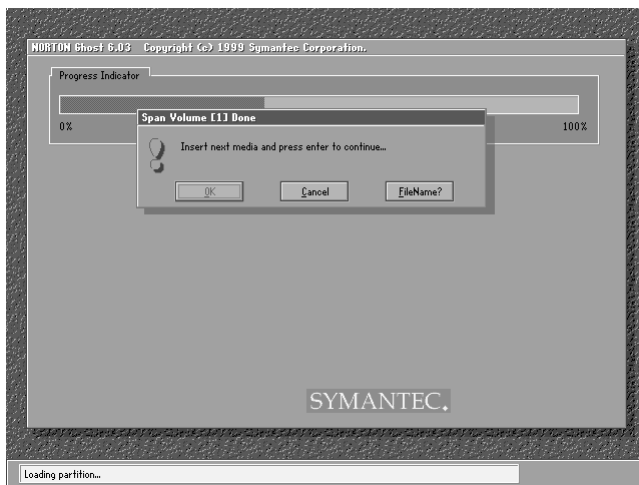
7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合は、CDを入れ替え、**[Enter]**キーを押してください。処理が続きます。



メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。



(表示例)

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 CDを取り出し、何かキーを押す



お願い

・CDをセットしたままキーを押すと、再度システムの復元が始まります。必ずCDを取り出してからキーを押してください。

システムが起動します。

9 Windowsのセットアップを行う

「最小構成の復元」画面が表示されます。最小構成でシステムを復元した時の注意事項が書かれていますので、必ずお読みください。読み終わったら、何かキーを押してください。

Windowsのセットアップが開始されます。

画面の指示に従って、Windowsのセットアップを行なってください。

ご購入後に変更した設定がある場合は、Windowsのセットアップ後に、もう1度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、お客様ご自身で追加されたアプリケーションのインストールも、Windowsのセットアップ後に行なってください。

🔗 周辺機器の接続について ⇨ 「4章 機器の拡張について」

4

アプリケーションを再インストールする(Windows 98 モデル)

Windows 98 モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを削除してしまっても、システムの復元を行うことなく、アプリケーションごとに再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用します。

1 操作手順

- 1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」をセットする
- 2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

7

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1	困ったときのQ&A	160
----------	-----------------	-----



1 困ったときのQ&A

実際に本装置を操作しようとしたときに、思ったとおりに操作できなかつたり、何をしたらよいかわからないときがあります。すぐに、故障だ！とあわてる前に、この章をお読みください。

各システムのコマンドを使用しているときにエラーメッセージが表示された場合は、『各システムに付属の説明書』をご覧ください。

アプリケーションソフトをご使用の方は、それぞれの『アプリケーションソフトに付属の説明書』をお読みください。

● 電源が入らない	160
● エラーメッセージが表示される	161
● 画面の表示がおかしい	161
● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない	162
● マウスの操作ができない	163
● フロッピーディスクドライブが使えない	163
● フロッピーディスクが使えない	163
● アプリケーションソフトが使えない	164
● ハードディスクドライブが使えない	165
● CD-ROM ドライブ / CD-R/RW ドライブが使えない	165
● PC カードが使えない	166
● i.LINK (IEEE1394) 対応機器が使えない	167
● サウンドが鳴らない	167
● 印刷できない	168
● テレビ、ラジオに障害が出る	168
● 省電力機能が正常に動作しない	169
● 異常や故障の場合	169
● どうしてもわからない場合	169

● 電源が入らない

状況 ● 本体の電源が入らない

確認 電源コードと AC アダプタは正しく接続されていますか？

対処 ● 電源コードと AC アダプタを正しく接続してください。
☞ 「1 章 6-7 電源への接続」

確認 電源ランプ  は点灯していますか？

対処 ● 電源スイッチを押してください。

確認 電源コンセントに電源が通じていますか？

対処 ● 電源の通じている電源コンセントに差ししてください。

● エラーメッセージが表示される

状況 ● 起動時にエラーメッセージが表示される

確認 システムの入っていないフロッピーディスクがセットされていませんか？

対処 ● フロッピーディスクを抜き出してから、再起動してください。

確認 電源を切って、また、すぐに入れませんでしたか？

対処 ● 電源を切ってから5秒以上待って電源を入れてください。

状況 ● アプリケーションソフト使用時にエラーメッセージが表示される

対処 ● 『アプリケーションソフトに付属の説明書』をお読みください。

状況 ● 「CMOS Battery LOW」というエラーメッセージが表示される

確認 内蔵バッテリーが消耗していませんか？

対処 ● 内蔵バッテリーを交換してください。
☞ 「4章 13 内蔵バッテリーの交換」

● 画面の表示がおかしい

状況 ● 画面に何も映らない

確認 パソコン本体およびディスプレイの電源は入っていますか？

対処 ● 電源を入れてください。

確認 ディスプレイ用電源コードは接続されていますか？

対処 ● 電源をいったん切ってから、コンセントに差し込んでください。

確認 ディスプレイ用信号ケーブルは正しく接続されていますか？

対処 ● ゆるみがないように正しく接続してください。

確認 表示自動停止機能が働いていませんか？

対処 ● [Shift]キーを押したり、マウスを動かしたり、電源スイッチを押してください。

確認 USB対応機器を接続していますか？

対処 ● 接続されているUSB対応機器によっては、USB対応機器の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れると、パソコン本体が起動しない場合があります。パソコン本体の電源を入れてからUSB対応機器の電源を入れてください。

状況 ● 画面の表示が乱れる、あるいは画面のサイズや表示位置等が異常である

確認 ディスプレイの輝度、コントラスト等の調整および、各調整スイッチでの調整は正しくできていますか？

対処 ● 輝度、コントラストおよび各調整スイッチを用いて、正しく調整してください。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

確認 ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行ないましたか？

対処 ● ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。

☞ 「3章 3 ディスプレイ解像度の変更」

また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行なってください。

● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない

状況 ● キーボードから入力できない

確認 キーボードケーブルのプラグはUSBコネクタに接続していますか？

対処 ● キーボードケーブルのプラグをUSBコネクタに接続してください。

状況 ● どのキーを押しても反応しない

対処 ● **[Ctrl] + [Alt] + [Delete]** キーを押してください。

● リセットスイッチを押してください。

● 電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。

● キーボード以外のUSB対応機器が接続されている場合、USB対応機器を取りはずして、もう1度電源を入れ直してください。

状況 ● 希望の文字が入力できない

対処 ● キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』を参照して、文字ロックを希望の状態にしてください。

● マウスの操作ができない

状況 ● マウスを操作しても反応しない

確認 マウスはUSBコネクタに接続されていますか？

対処 ● マウスをUSBコネクタに接続してください。

● フロッピーディスクドライブが使えない

*フロッピーディスクドライブは別売りです。

状況 ● フロッピーディスクのデータの読み／書きができない。

確認 フロッピーディスクは正しく挿入されていますか？

対処 ● 正しく挿入されていない場合があります。フロッピーディスクを1度抜いて、もう1度挿入し直してください。
どうしてもフロッピーディスクドライブが使えない場合は、フロッピーディスクドライブが故障しているおそれがあります。

状況 ● FDDアクセスランプが消えない

対処 ● 大量のデータを処理しているときは、ランプが消えるまで待ってください。
どうしてもランプが消えないときは、作業を中断（フロッピーディスクを取り出してから電源を切る、または`Ctrl+Alt+Delete`キーを押す）してください。再起動後、同じ作業を繰り返してみても、それでもFDDアクセスランプが消えない場合は、フロッピーディスクドライブが故障しているおそれがあります。

● フロッピーディスクが使えない

*フロッピーディスクドライブは別売りです。

状況 ● 「書き込み禁止です。」というエラーメッセージが表示された

確認 フロッピーディスクが書き込み禁止状態になっていませんか？

対処 ● フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にしてください。
☞ 書き込み可能状態について ⇨ 「4章6 フロッピーディスクドライブ」

状況 ● 「ファイルが作れません。」というエラーメッセージが表示された

確認 フォルダは作成されていますか？

対処 ● フォルダを作って、そこにファイルを作ってください。

状況 ●「ディスクがいっぱいです。」というエラーメッセージが表示された

確認 ディスクの空き容量が少なくありませんか？

- 対処**
- 不要なファイルを削除して、やり直してください。
 - 別のフロッピーディスクを使用してください。

状況 ●フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを挿入しているのに、「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」というメッセージ画面が表示される

- 対処**
- [キャンセル] ボタンをクリックして画面を閉じたあと、フロッピーディスクをもう1度挿入し直して、再度アクセスを行なってください。

状況 ●フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクを挿入しているのに、「ドライブXXのディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？」というメッセージ画面が表示される

確認 フロッピーディスクはフォーマットされていますか？

- 対処**
- フロッピーディスクがフォーマットされている場合は、[いいえ] ボタンをクリックして画面を閉じたあと、フロッピーディスクをもう1度挿入し直して、再度アクセスを行なってください。
 - フロッピーディスクがフォーマットされていない場合、書き込み（データの保存）ができません。このまま、フォーマットをする場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

● アプリケーションソフトが使えない

状況 ●アプリケーションソフトが思うように動かない

確認 システム構成は正しく設定されていますか？

- 対処**
- 『アプリケーションソフトに付属の説明書』を読んで、指示があればシステム構成を変更してください。

状況 ●アプリケーションソフトが動かない

確認 そのアプリケーションソフトはシステムに対応していますか？

- 対処**
- システムに対応していないアプリケーションソフトは使えません。お使いのシステムに対応しているアプリケーションソフトをお買い求めください。

● ハードディスクドライブが使えない

状況 ●データの読み／書きができない



対処

- 故障しているおそれがあるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

● CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブが使えない

*内蔵されているドライブの種類は、ご購入のモデルによって異なります。

状況 ●CD-ROM ドライブまたはCD-R/RW ドライブにアクセスできない

確認

CD-ROM ドライブまたはCD-R/RW ドライブのディスクトレイはきちんとしまっていますか？



対処

- CD-ROM ドライブまたはCD-R/RW ドライブのディスクトレイを正しく格納してください。

確認

CD がきちんとセットされていますか？

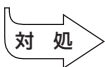


対処

- CD-ROM ドライブまたはCD-R/RW ドライブのディスクトレイを引き出し、ラベルが付いている方を右にして、CD をセットしてください。

確認

CD-ROM ドライブまたはCD-R/RW ドライブのディスクトレイに異物がありますか？

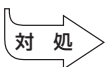


対処

- 何かはさまっていたら取り除いてください。

確認

CD が汚れていませんか？



対処

- 水か中性洗剤で湿らせた布で、汚れを拭き取ってください。

確認

対応していないフォーマットのCD-ROM をセットしていませんか？



対処

- CD-ROM ドライブまたはCD-R/RW ドライブが対応しているフォーマットのCD-ROM をセットしてください。

☎ [1章 4-5 CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブについて]

状況 ●CD が取り出せない

確認

電源が切れていませんか？



対処

- 電源を入れてから、CD-ROM ドライブまたはCD-R/RW ドライブのイジェクトボタンを押してください。

● PC カードが使えない

状況 ●PC カードの挿入が認識されない

確認 PC カードが奥までしっかり差し込まれていますか？



対処

●奥までしっかり差し込んでください。

☞ PC カードの取り付け ☞ 「4章 4 PC カード」

状況 ●MS-DOS 上で使用できない



対処

●本製品は Windows 専用モデルです。MS-DOS 上で PC カードをご利用いただくためのドライバはご用意しておりません。

状況 ●デバイスとして認識されるが使用できない

確認

IRQ が不足していませんか？



対処

●使用しないデバイスを使用不可にしてください。

< Windows 98 の場合 >

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [デバイスマネージャ] タブで使用しないデバイスを使用不可にする
- ③ [適用] ボタンをクリックする
- ④ [OK] ボタンをクリックする

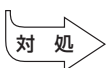
< Windows 2000 の場合 >

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] をクリックする
- ③ + をクリックし、使用しないデバイスを右クリックする
- ④ 表示されるメニューの [無効] をクリックする
- ⑤ [はい] ボタンをクリックする

i.LINK (IEEE 1394) 対応機器が使えない

状況 ● i.LINK (IEEE1394) 対応機器が使えない

確認 ケーブルは正しく接続されていますか？



● ケーブルが、パソコン本体と i.LINK 対応機器に正しく接続されているかどうか確認してください。

☞ 接続について ⇨ 「4章 8 i.LINK (IEEE1394) 対応機器の接続」

確認 ドライバは正しくインストールされていますか？



● 次の手順でドライバをインストールしてください。

① [コントロールパネル] を開き、[ハードウェアの追加] をダブルクリックする
[新しいハードウェアの追加ウィザード] が起動します。

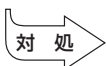
② [次へ] ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。

確認 i.LINK 対応機器の電源は入っていますか？



● i.LINK 対応機器の電源を入れてください。

確認 システム (OS) は、i.LINK 対応機器を認識していますか？

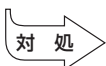


● 何らかの原因で、システム (OS) が正しく i.LINK 対応機器を認識していない可能性があります、Windows を再起動してください。

サウンドが鳴らない

状況 ● 音楽用 CD や WAV ファイルを再生しても、音が出ない

確認 ボリュームが下がっていませんか？



● タスクトレイの音量アイコンをダブルクリックして、音量を確認してください。

☞ 音量インジケータについて ⇨ 「3章 2-2 音量インジケータ」

確認 スピーカが接続されていますか？



● 本体背面の LINE OUT 端子にスピーカ (別売り) を接続してください。

☞ スピーカの接続方法 ⇨ 「4章 10 スピーカの接続」

● 印刷できない

状況 ● 本体に接続したプリンタが動作しない

確認 プリンタの電源は入っていますか？

対処 ● プリンタの電源を入れてください。

確認 接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていますか？

対処 ● 正しく接続してください。

状況 ● 画面上の表示と異なった印刷物が出てきたり、うまく印刷できない

確認 アプリケーションソフト上でのプリンタの設定条件は、ご使用のプリンタの設定に合っていますか？

対処 ● アプリケーションソフト上、または Windows のプリンタ設定で正しく設定し直してください。
☞ 『アプリケーションソフトに付属の説明書』

● テレビ、ラジオに障害が出る

状況 ● テレビ、ラジオの調子がおかしい

確認 テレビ、ラジオの近くにパソコン本体やディスプレイを置いていませんか？

対処

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体やディスプレイの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオから離してください。
- テレビ、ラジオの電源コンセントとは別の電源コンセントを使ってください。
- 電源コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてください。
- 受信機に屋外アンテナを使ってください。
- 平衡フィーダを同軸ケーブルに替えてください。

● 省電力機能が正常に動作しない

状況 ● 省電力機能が正常に動作しない

確認 市販のPCカード、USB対応機器、i.LINK対応機器を使用していますか？

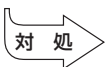


対処

- 接続しているPCカード、USB対応機器、i.LINK対応機器の種類によっては、省電力機能が正常に動作しない場合があります。
BIOSセットアップを起動し、[Power Management Setup]の[ACPI Standby State]を[S1/POS]に設定してください。
- ☞ BIOSセットアップ☞ [5章 BIOSセットアップについて]
- Windows上の省電力機能を使用しないでください。

● 異常や故障の場合

状況 ● 異常な臭いや過熱に気がついた



対処

- 電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜き、DCジャックからACアダプタを取りはずしてください。
- 次のところに連絡してください。
 - ・ お買い上げの販売店
 それでもわからない場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。
 え、お近くのサービスステーションへご連絡ください。
 - ・ 使用している機器の名称
 - ・ ご購入年月日
 - ・ 現在の状態
 できるだけ詳細にご連絡ください。

● どうしてもわからない場合

操作できない原因がどうしてもわからない場合は、同梱の『ユーザサポート窓口のご案内』をご覧ください。現在の状態をメモし、お買い上げの販売店または同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。お近くのサービスステーションにご相談ください。

付録

本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

1	製品仕様	172
2	各インタフェース	177
3	エラーメッセージ	181
4	その他の設定	182

1 製品仕様

1 仕様概要

モデルにより多少異なります。

機種		EQUIUM S5000		
プロセッサ	メインプロセッサ	Pentium III 866MHz		
		1次CACHE (32kB) FPU内蔵		
		2次CACHE : 256kB		
メモリ	標準メモリ	SO-DIMM 128MB SDRAM		
		PC100 ECC無し タイプT		
	増設メモリ	SO-DIMMSロット×1 最大384MB		
		使用可能 SO-DIMM 64MB/128MB/256MB ECC無し PC100 タイプT		
ROM		FLASH MEMORY 4Mbit (書き換え可能)		
表示機能	コントローラ	i810E2 GMCH		
	ビデオRAM	メインメモリと共有		
	グラフィック表示	640 x 480 256・64k・16M色 800 x 600 256・64k・16M色 1024 x 768 256・64k・16M色 1280 x 1024 256・64k・16M色*1 1600 x 1200 256色*1		
LAN機能	伝送速度	100Mbps TX LAN		
	適合規格	100BASE-TX/10BASE-T		
FAX/通信機能		データ：最大56Kbps (V.90, K56flex対応、ボイスレス) FAX：14.4K		
補助記憶装置	HDD	3.5型 1台装備		
		40GB		
	CD-ROMまたは CD-R/RW*2	CD-ROM	24倍速 (最大)	
		CD-R/RW	CD：24倍速 (最大) CD-R：8倍速 (最大) CD-RW：8倍速 (最大)	
入力装置	キーボード*2	109Aキー/テンキー付き 小型		
	マウス	USBホイール付き		
インタフェース	アナログRGB	1ポート アナログ RGB (3列タイプ)		
	デジタルRGB	1ポート DVI-D		
	LAN	1ポート		
	モデム	1ポート		
	i.LINK(IEEE1394)	2ポート		
	オーディオ	LINE OUT、マイク端子		
	USB	4ポート		
PCカードスロット		TYPE II ×1		

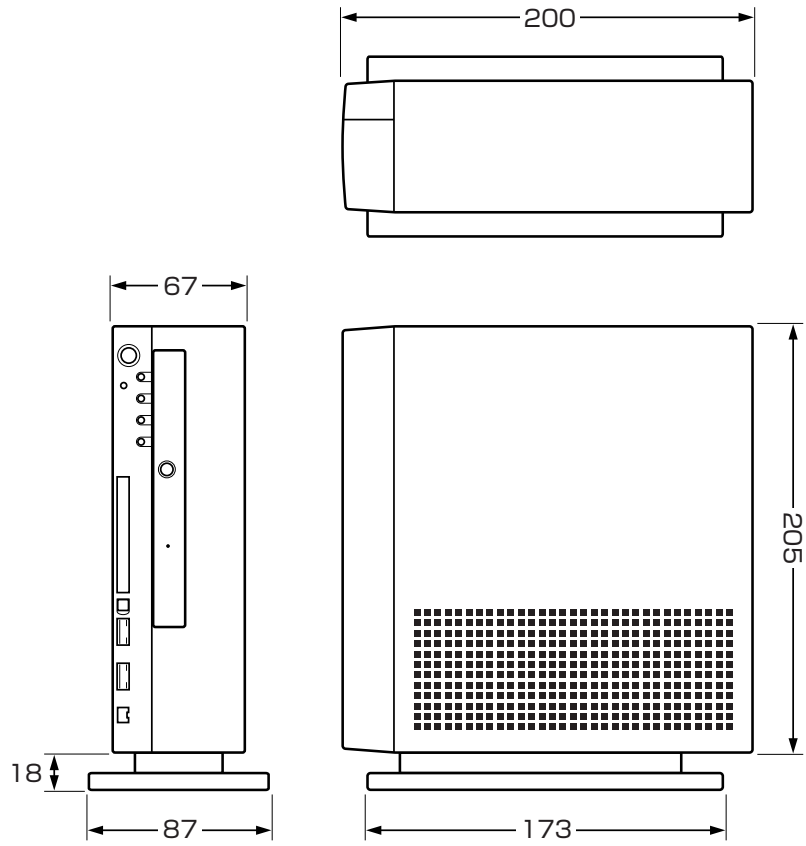
*1 デジタルディスプレイでは、1600 × 1200のモードで使用できません。

*2 ご購入のモデルによって異なります。

機種		EQUIUM S5000		
内蔵機能	サウンド	i810E2 ICH+AD1881A (Codec)		
カレンダー機能		日付、時計機能 ボタン型バッテリー使用 電池交換可 寿命約3年		
特殊機能	パワーマネージメント	HDD: パワーダウン		
	PnP	Plug&Play対応BIOS		
電源	電源条件	100V 50/60Hz		
	最大消費電力	60W		
周囲温度	動作	10℃~35℃		
	非動作	-20℃~60℃		
相対湿度	動作	20%Rh~80%Rh (ただし結露しないこと)		
	非動作	10%Rh~90%Rh (ただし結露しないこと)		
外形寸法	本体	67 (W) × 200 (D) × 205 (H) mm (ケーブルカバー、台座を除く)		
		87 (W) × 255 (D) × 223 (H) mm (ケーブルカバー、台座を含む)		
	キーボード *1	109Aキー	465 (W) × 175 (D) × 38 (H) mm (非フィルトアップ時)	
		テンキー付き 小型	382 (W) × 189 (D) × 35 (H) mm (非フィルトアップ時)	
質量	本体	約2.8kg		
	キーボード *1	109Aキー	約0.9kg	
		テンキー付き 小型	約0.9kg	

* 1 ご購入のモデルによって異なります。

2 外形寸法図



(単位 : mm)

3 メモリマップ

メモリマップについての詳細は、次の方法で確認してください。

● Windows 98 の場合

- 1 [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] - [メモリ] をクリックする

● Windows 2000 の場合

- 1 [マイコンピュータ] を右クリックして [管理] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [システム情報] - [ハードウェアリソース] - [メモリ] をクリックする

4 I/O マップ

I/O マップについての詳細は、次の方法で確認してください。

● Windows 98 の場合

- 1 [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] - [I/O] をクリックする

● Windows 2000 の場合

- 1 [マイコンピュータ] を右クリックして [管理] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [システム情報] - [ハードウェアリソース] - [I/O] をクリックする

5 割り込みレベル・DMAチャンネル

ご使用の環境（ハードウェア／ソフトウェア）によって変更される場合があります。

● 割り込みレベル

割り込みレベルについての詳細は、次の方法で確認してください。

● Windows 98 の場合

- 1 [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] - [IRQ] をクリックする

● Windows 2000 の場合

- 1 [マイコンピュータ] を右クリックして [管理] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [システム情報] - [ハードウェアリソース] - [IRQ] をクリックする

● DMA チャンネル

DMA チャンネルについての詳細は、次の方法で確認してください。

● Windows 98 の場合

- 1 [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] - [DMA] をクリックする

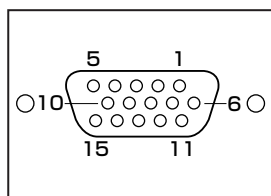
● Windows 2000 の場合

- 1 [マイコンピュータ] を右クリックして [管理] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [システム情報] - [ハードウェアリソース] - [DMA] をクリックする

② 各インタフェース

① アナログ RGB インタフェース

(注) I/O は本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CRV	赤色ビデオ信号	0
2	CGV	緑色ビデオ信号	0
3	CBV	青色ビデオ信号	0
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Unused	未使用	
10	GND	信号グランド	
11	ID0	モニタID	
12	DDCDAT	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号(TTL)	0
14	-CVSYNC	垂直同期信号(TTL)	0
15	DDCCLK	SCLデータクロック信号	I/O

② アナログ RGB インタフェースの同期信号

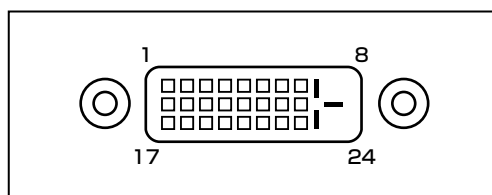
解像度 色数	640x480	800x600	1024x768	1280x1024	1600x1200
	垂直 (Hz)				
256	60-85	60-85	60-85	60-85	60-85
64k	60-85	60-85	60-85	60-85	—
16M	60-85	60-85	60-85	60-85	—

色数 256:256色、64k:65,536色、16M:1,677万色

ご使用になれる解像度、色数は接続するディスプレイによって異なります。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

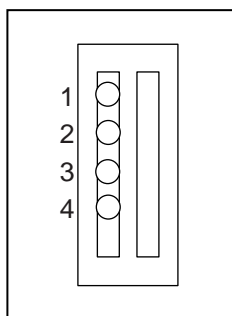
③ DVI-D インタフェース



ピン番号	意味	ピン番号	意味
1	T.M.D.S.データ2-	13	T.M.D.S.データ3+
2	T.M.D.S.データ2+	14	電圧5V
3	T.M.D.S.データ2/4シールド	15	信号グラウンド (5V用)
4	T.M.D.S.データ4-	16	ホットプラグ信号
5	T.M.D.S.データ4+	17	T.M.D.S.データ0-
6	DCCクロック信号	18	T.M.D.S.データ0+
7	DCCデータ信号	19	T.M.D.S.データ0/5シールド
8	未使用	20	T.M.D.S.データ5-
9	T.M.D.S.データ1-	21	T.M.D.S.データ5+
10	T.M.D.S.データ1+	22	T.M.D.S.クロックシールド
11	T.M.D.S.データ1/3シールド	23	T.M.D.S.クロック信号+
12	T.M.D.S.データ3-	24	T.M.D.S.クロック信号-

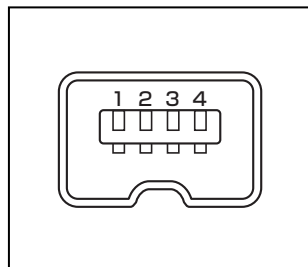
デジタルRGB ディスプレイの最大解像度は 1280 × 1024 ドットです。

4 USB インタフェース



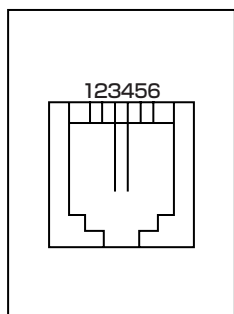
ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	-Data	I/O
3	+Data	I/O
4	GND	

5 i.LINK (IEEE1394) インタフェース



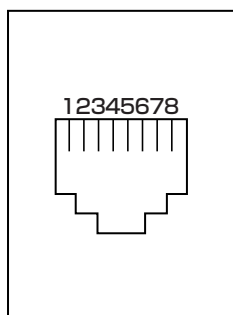
ピン番号	信号名	意味	I/O
1	TPB-	ストロブ受信／データ送信 (2対の差動信号)	
2	TPB+	ストロブ受信／データ送信 (2対の差動信号)	
3	TPA-	データ受信／ストロブ送信 (2対の差動信号)	
4	TPA+	データ受信／ストロブ送信 (2対の差動信号)	

6 モデムインタフェース



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	—	ノーコンタクト	
2	—	ノーコンタクト	
3	TIP	電話回線	I/O
4	RING	電話回線	I/O
5	—	ノーコンタクト	
6	—	ノーコンタクト	

7 LAN インタフェース



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	TX	送信データ (+)	O
2	-TX	送信データ (-)	O
3	RX	受信データ (+)	I
4	Unused	未使用	
5	Unused	未使用	
6	-RX	受信データ (-)	I
7	Unused	未使用	
8	Unused	未使用	

3 エラーメッセージ

この項目では、システム起動時に発生する可能性のあるエラーメッセージおよびブザーについて説明します。



注意 ・下記以外のエラーメッセージまたはブザーが発生した場合、または、下記のエラーメッセージまたはブザーが繰り返し発生する場合は、エラーメッセージまたはブザーの内容と現在の本体の設定環境を具体的に記録し、『保守サービスのご案内』をご覧ください。うえ、すぐにサービスステーションまでお問い合わせください。

エラーメッセージについて

エラーメッセージ	説明
CMOS Battery LOW	内蔵バッテリーが消費しています。 新しいバッテリーに交換してください。 ▶ 「4章 13 内蔵バッテリーの交換」
CMOS Setting Wrong CMOS/GPNV Checksum Bad	CMOSでエラーが検出されました。 CMOSの内容がクリアされている可能性があります。 BIOSセットアップを正しく設定し直してください。 ▶ 「4章 13 内蔵バッテリーの交換」
Boot Failure Reboot and Select Proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device Press any key when ready	システムを起動するドライブが見つかりません。 フロッピーディスクドライブから起動する場合は、システムの入ったフロッピーディスクをセットし、[Enter]キーを押してください。 ハードディスクドライブから起動する場合は、システムが正しくインストールされているか、また、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
Sec Master Drive-ATAPI Incompatible	ディスクドライブが正しく認識されていません。 BIOSセットアップを起動し、ディスクドライブを正しく設定するか、また、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。 ▶ 「5章 BIOSセットアップについて」
Pri Master HDD Error	ディスクドライブが正しく認識されていません。 BIOSセットアップが起動し、ディスクドライブを正しく設定するか、また、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。 ▶ 「5章 BIOSセットアップについて」

ブザーについて

増設メモリを取り付けていてシステム起動時にブザーが鳴った場合は、本装置のオプション以外の増設メモリを取り付けている可能性があります。

本装置のオプションの増設メモリを使用してください。

▶ 「4章 12 増設メモリ」

4 その他の設定

1 CD-R/RW モデル

CD-R/RW モデルで、CD-R / CD-RW に書き込みを行うためには、専用のソフトウェアが必要です。

書き込みを行うためのソフトウェアとして、Adaptec 社製「DirectCD」「Easy CD Creator」をご用意しています。

次の手順に従って、インストールを行なってください。

また、実際に CD-R / CD-RW に書き込みを行うときは、「1 章 4-5-CD-R / CD-RW に書き込む」の注意事項をお読みください。

● インストール方法

- 1 「Easy CD Crearor」CD-ROM を CD-R/RW ドライブにセットする
CD-ROM をセットすると、自動的にインストール画面が表示されます。
- 2 画面の指示に従って [DirectCD] または [Easy CD Creator] をインストールする
- 3 パソコン本体を再起動する